

○事業所名	大分こども発達支援センターつばさ学園		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 10日		～ 令和7年 12月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 10日		～ 令和7年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・建物や園庭が広く子どもたちが主体的に遊べる環境が準備されていること。 ・運動遊びが十分行える室内環境、感覚遊びを思いっきり楽しめる園庭や砂場、泥山、すべり台やシーソーなど、子どもたちが自然の中で季節を感じることもできる環境やルール、お友だちとやりとりを経験できるような空間が整っていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの情緒面や発達段階により、個別で使用する部屋や小集団で使用する部屋、音楽に触れる部屋など使用目的に併せて変更している。 ・感覚遊びや全身運動を十分に行えるよう、部屋の設定を構造的にしている。微細な物なども使いそれぞれの発達に併せて遊びが広がるように支援者が意識して環境設定を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階に応じ、個室を使用する時は、子どもに分かりやすい設定になるよう視覚的な面も取り入れながら工夫をする。 ・場所や空間によってごっこ遊びや個別で集中できる遊びを行えるようにしていく。又、集団活動を通して、季節を感じられる活動を増やしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用している子どもたちの発達段階に合わせ、一人一人に寄り添える支援体制を整えている。 ・発達特性や発達段階、年齢に合わせて小集団で活動しやすいクラス設定を取り入れている。 ・子どもに対しての支援を共通して行えるよう、支援者間で必要に応じて、カンファレンスの実施をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その時々子どもさんの状態に合わせ、必要であれば個別対応を行い支援するようにしている。 ・子どもたちの発達段階を大事にし、成長に合わせて、クラス変更や職員配置行い、コミュニケーション面や対人面を伸ばせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達特性に合わせ、支援ができる支援者の資質の向上に取り組む。 ・引き続き、子どもさんの発達に合わせてクラス変更を行っていく。クラス同士で活動や集団遊びを行う活動時間なども設定し、集団活動の経験を増やしていけるようにしていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・併設している療育センターの療法士とカンファレンスを行い、就学先についてや、地域移行について支援を共有している。 ・併設しているキッドワールドセカンドこども園やキッドワールドこども園を併行通園している子どもの情報共有会をその時々で必要に応じてお迎え時に話し合ったりすることができている。レスパイトが必要なケースなど、状況に応じて個別相談を行い対応をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の療法士と定期的に情報共有が出来るよう、カンファレンス以外にも共有する時間を設けるようにしている。 ・併行通園している子どもたちが安心して利用開始できるように利用開始前や初回利用時などは特に注意し、キッドワールドセカンドこども園、キッドワールドこども園と子どもについての情報共有や療育時間、困りや発達段階の確認を行うように取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の療法士と保護者の方を含めたケース会議が行うよう取り組んでいく。又、保護者のニーズや課題、家庭での困りなど保護者支援にも繋がる為、多職種が参加できる場の構築をしていく。 ・併行通園が開始されると情報共有を定期的実施することが少なくなる為、日々の様子も含めたケース会議を実施することで支援内容の共有に繋げていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の老朽化により、雨漏りした箇所や、壁紙が汚れ破れている箇所がある。 ・子どもの使用する部屋から子ども用トイレが見えている。 ・園庭側のフェンス施設が出来にくい時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・破損箇所や雨漏り箇所など、その都度、改修や補修を行っているが、建物の老朽化により、元通りにならない箇所はある。 ・子ども用トイレは安全面も考慮した上で、入口の扉を設置しなかったと思われる。 ・老朽化により、金具自体の動きが悪くなっているのではないかとと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨漏り箇所や壁紙の破損箇所については、年度ごとに補修を実施できるよう計画的に取り組んでいく。 ・必要に応じて、ロールカーテンを使用できるよう周知をしていく。 ・金具の取り換えも検討しつつ、潤滑剤などを用いて改善を試みていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤の職員数が多いため、子どもの支援共有が難しい場合がある。 ・年度初め時には全職員参加の研修会や情報共有会を実施できるよう取り組んでいるが、体調不良や家庭内の事情により参加が難しく全員が揃わないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置されている職員の勤務が雇用形態により変わる為、週3日程度の勤務だと常勤との間でタイムラグが生じることが要因。 ・雇用形態や勤務日数に制限があり、職員本人の都合等も含め、全職員が揃うことが難しいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎノートや子どもの様子や支援内容の変更などを確認できるように引き継ぎ書を作成していく。 ・療育開始前にクラス内で、情報共有や注意事項など必要な伝達を共有できる時間を設ける。 ・全体必須の研修などは、前もって事前予告を行っていく。不参加者も後日確認ができるようペーパーを準備して復命研修しやすい環境を作っていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・併用先であるキッドワールドこども園やキッドワールドセカンドこども園の先生方とその時々でタイムリーな共有をすることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、こども園の先生方の勤務時間が日によって違うことや、話し合いをする時間が限られていることで、子どもの様子や状態を共有することが課題となっていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間が双方に異なる為、書面でのやりとりも検討していく。共有したい内容や集団生活の課題、現在の様子などお互いに共有したい事項を端的に分かりやすく記入し、必要であれば、電話などで確認するような方法も視野に入れていく。

事業所名 大分こども発達支援センターつばさ学園

公表日 令和8年 1月 8日

利用児童数

36/42

回収数 86%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35			1	・園庭が広いし、プレイルームもあり、 子どもが遊べるスペースは十分ある。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	1		3	・先生を多く配置してくれているので、目 が行き届いている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	4		3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせて空間となっていると思いますか。	32	2		2	・掃除が行き届いていて綺麗だと思う。 ・子どもに合わせて場所を使い分けている。	
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	35	1			・まだ先生も分からない部分もあるみたいなの で、継続して見守ってほしい。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	33	2		1	・計画書に基づいて、いろいろ考えてく れていると思う。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	35	1			・親の希望や子どもの成長に合わせて作 成してくれている。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	1			・何が子どもにとって必要か、家ででき る支援など、考えて分かりやすく設定し てくれている。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	1		1	・まだ、子どもの成長を見守らないと何 とも言えない。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	28	3		5	・その日によって先生方が対応を変えて くれていると思う。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	12	3	3	8	・隣のセカンドなどと交流が図られる良 いなと思います。 ・初めての人には緊張してしまうので交 流は特に望んでいません。・提携して いる園や他の園のお子さんと交流の機会を 作ってほしい。	・ご意見、ありがとうございます。セカ ンドこども園には併行通園している方も いますので、交流について、子どもさん のタイプに合わせて不安にならないよ う、検討していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	34			2	・すごく丁寧に説明や見学をしていただ き、話す時間も十分に設けてくれた。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36				・一緒に読み合わせして、説明してくれ る。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	33	1		2	・もっと、つばさに通って来ている親御 さんと話す機会を増やしてほしい。	・ご意見、ありがとうございます。保護 者会や研修会を行う中で、保護者の方 が交流を持てる機会を増やせるよう にしていきたいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	34	2			・あまり、子どもの様子を聞けない時 もある。	・ご意見、ありがとうございます。保護 者の方と様子についてお話が出来る機 会を検討していきたいと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	2	1	1	・時間を作って、お話しして相談を 出来る環境を作っている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34			2	・子どもにとって何が最善なのか、又、 親の気持ちにも寄り添った支援をいた だいています。 ・悩み事も聞いて共感してくれて寄 り添ってくれている。	

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	9	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい同士の交流がもっと図られると良いと思います。 ・月1回の行事は毎回楽しいです。保護者の交流はもう少し増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ありがとうございます。きょうだい児同士が交流する機会を行事の何処かで検討していきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34			2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に相談する時間を設けてくれたり、自分から要望した時はすぐに対応してくれる。 	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	3		1	<ul style="list-style-type: none"> ・たまにちゃんと連絡がいつているかと思う時はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ありがとうございます。施設内の連絡を共有できるようシステム構築に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあればメールで知らせてくれたり活動内容など分かりやすく連絡してくれる。 	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36				<ul style="list-style-type: none"> ・園自体がしっかり管理してくれているので安心していきます。 	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	2		3	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの内容は全部が理解していないし、訓練はまだしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ありがとうございます。各マニュアルについて説明を行う機会を設けようと思います。訓練につきましては、月に1度実施をしていますので、訓練開催日はご参加をお願いいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34			2	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の訓練はまだ1回もしたことがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ありがとうございます。月に1度、避難訓練を実施していますので訓練日にはご参加をお願い致します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用バッグに関して、こちらから聞くまで何も説明がなかった。新年度に準備しておくものでなかったのだろうか。 ・安全の確保の計画の話はしたことがない。各場所に鍵をかけて安全は確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変すみませんでした。災害バッグは年度開始時と半年後に中身の入れ替えを行っています。分かりにくく申し訳ありません。何かありましたら、いつでもお声かけください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32			4	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ経験がないので分かりません。 	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36				<ul style="list-style-type: none"> ・分離の時は、泣くこともなく先生と一緒に教室に入ってます。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35			1	<ul style="list-style-type: none"> ・お休みの日も「明日つばさに行く？」と聞くくらい楽しみにしています。 ・「○○先生と○○したのー」といつも楽しそうに報告してくれます。 ・つばさに行くといつも笑顔で喜んでいます。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、ありがとうございます。 ・降園時間が早すぎる＆進みスピードがゆっくりすぎると感じる。 ・家庭以外で子どもにとっても安心できる場所・人がいる事がとても嬉しいです。先生方、職員の皆様、いつもありがとうございます。 ・大変満足しています。いつもありがとうございます。 ・園の先生方が一生懸命子どもと向き合ってくれて感謝しています。 	

事業所名	大分こども発達支援センターつばさ学園				公表日	令和8年 1月 8日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	2	・部屋の仕切りまではしていないが、ゆっくり一人で過ごせる空間を所要所に設けている。	・雨天時はプレイルームが混雑する時がある為、改善を要す。 ・静かにクールダウンできる所。個別にゆっくり遊べる所、外遊びでも仕切りの空間を分けて遊べる場所があると良い。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16	3	・人員配置は多く配置している。 ・個別対応が必要な場合には、個別対応できる配置をしている。	・外部支援と重なると難しいことがある。 ・職員数が少ないために、支援の内容を変更することがあった。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	1	・プレイルームや走る専用のお部屋など、構造的に部屋を分けて使用している。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	2	・場所によっては暗くて、落ち着ける場所になっている。 ・毎日清掃を実施している。又、季節により加湿器などを使用し環境を整えている。	・玄関の足洗い場は、改修して欲しい。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	3	・心身の状態や体調により、個室を使用できるようにしている。	・配置によっては部屋の確保が難しいこともある為、今後は改善も必要。 ・個室の部屋や場所がもっと必要時がある。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	1	・行事等では、クラス会議を行い発言しやすい環境を作り、どの職員も参画している。 ・療育前と療育後に各クラスで実施している。	・パート従業員との意見交換が全体で出来ているとはいえない。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	0	・自己評価の内容や保護者会で出た意見等については、職員間で共有し、改善につなげるようにしている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	3	・職員面談を実施しており、その際に出た意見は他職員の意見と擦り合わせて協議し、働きやすい職場環境につなげている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	2	・第三者委員の先生が評価を実施している。評価結果は職員間で共有し、実施できる内容より取組をしている。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	2	・発達支援に関する研修会や研究会への参加を確保している。又、セミナーなどの外部研修も業務として業務経費により参加をしている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	0			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18	1	・日々の子どもの様子を観察し、アセスメントを基に支援計画を作成している。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	1	・支援計画の原案を作成後、担当者会議を実施し、現状の把握や課題分析などの検討を行っている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	2	・本案完成後は、保護者説明前に担当者間で最終共有を行い支援開始としている。	・共有事項については、職員間で共有できていない事が多いように感じる為、今後は改善の必要がある。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	1			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	0	・保護者のニーズ、子どもさんの発達段階、家族環境などを含め、地域移行を行うまでに必要な支援内容や項目を記入している。又、具体的な支援については、シンプルに記入し、説明時は個別に時間を設定するなどしている。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	0	・日々の活動プログラムは職員間で事前調整を行い行っている。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	1	・活動内容は子どもたちの状態を見ながら変更しているが、見通しが立ちやすいように配慮している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	19	0	・生活療育の中で個別で活動する時間と集団活動に参加出来るよう支援計画に合わせて実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	1	・支援開始前には必ずミーティングを実施し、支援内容の変更や注意点、前回の様子などを含めて共通認識出来るようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	1	・支援後は、全体で終礼を行い個別対応や相談事項などを共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	19	0	・療育終了後に支援記録を記入する時間を設けている。支援計画との検証ができるように、支援計画を添付し自由記載ができるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	0	・行事など、保護者の方が来園した際にモニタリングを実施している。現在の様子や保護者のニーズを確認した上で見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19	0	・サービス担当者会議やケース会議には、担当者が参加できるようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	1	・併設している大分こども療育センターやキッドワールドセカンドこども園とは連携して支援を行うようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	1	・併行通園をしている子どもさんについては、送迎時や電話連絡などで情報共有を行っている。又、定例会を定期実施しており、その中で情報共有する時間を設けている。	・移行に向けた支援や相互理解は不十分に感じている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19	0	・書面や電話などで情報共有をしている。又、先方の都合が良ければ、生活場面を見学に来てもらい、支援内容や課題を共有する時間を設定している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	19	0	・大分県児童発達連絡協議会の中で県域の児童発達支援センターを職員と研修会を実施している。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	19	0	・大分県発達障がい者支援専門員養成研修や保育コーディネーター養成研修などの専門研修から、初任者研修などに参加を促している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	19	0	・自立支援協議会子ども部会のメンバーとして参画している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	17	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	6	・併用している子どもさんは地域の子どもと活動する機会を得るようにしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19	0	・単独通園、併行通園児には連絡帳を使い保護者とやりとりを行っている。又、集団生活の様子を見てもらい現状の課題を共通認識している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	19	0	・県の委託事業として、ペアレント・プログラムを実施している。保護者へ案内をし、希望者には参加を促している。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	1	・入園する前の契約時に保護者と面談する時間を設定して個々に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19	0	・計画前には保護者の方と面談を行い、意向の確認や対象児の地域移行、就学を見据えて確認するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	19	0	・利用開始前に保護者の方に来園してもらい支援計画書を個別に説明する時間を設けている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	1	・療育公開日などで家庭内での様子や困り、問題行動などを把握している。必要な際は個別面談の時間を設け、家族支援を実施している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17	2	・保護者向けの研修会や給食試食会などを開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19	0	・保護者相談については、即個別面談を実施し対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	18	1	・毎月、クラスごとに園だよりを発行している。 ・ホームページにはブログを行事ごとに掲載している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	1	・個人情報の流出が無いように、共有フォルダにて管理を徹底している。 ・USBは使用しないように組織内で徹底している。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	1	・保護者やご家族の状況に応じて説明内容や視覚的に伝えるように配慮している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	8	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	1	・マニュアルについては、年度初めに保護者の方全員へ毎年説明を行っている。・訓練については危機管理委員会が年間計画に沿って実施している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	0	・事業継続計画を作成し、職員へ研修を実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	19	0	・アセスメント時、契約時、緊急連絡先などに記載場所を示し、常に最新の情報を得るようにしている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	1	・家族から情報を得て、栄養士に報告し給食メニューを作成し対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19	0	・安全計画を作成し年間計画に沿って必要な研修などを実施している。又、室内外安全管理簿を月に一度記入し、安全管理に努めている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	19	0	・緊急時や災害時を想定しての安全確保については、保護者と連携が図れるようにしている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19	0	・ヒヤリハット作成後は、全体で閲覧し、数か月後に改善が見られたかどうかのフィードバックも行っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	1	・外部の虐待防止研修には必ず1名参加し、復命研修を実施している。又、年度初めに職員全体で虐待防止研修会を実施し、チェックリストの記入もしている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	19	0	・利用開始前には事前に身体拘束に関する同意書で保護者の確認を得ている。 ・身体拘束が必要な場合は支援計画書の変更してから実施するようにしている。	